

施策評価調書

施策名	4-3-1	町内商業の活性化	施策を取り巻く環境変化	・商店街については、後継者の問題や、モータリゼーションの進展等により、衰退しています。 ・JR宝積寺駅との協賛イベントを実施するも、町外からの誘客は減少傾向にあります。 ・宝積寺駅東西連絡路の完成により、利便性が向上し、ちよっ蔵広場と相まった動線や景観形成により、滞留できる環境が形成されたが、なかなか誘客につながらない。
		地域経営計画(後期計画) 該当ページ		
担当部課	建設産業部 産業課	担当 リーダー	商工観光担当 片野秀光	

1. 住民意識調査結果

21年度(10月実施)		25年度(※実施予定)		26年度(※実施予定)	
満足度	-14.7% 第34位/全36項目(町内の魅力PR)	満足度	第 位/全 施策	満足度	第 位/全 施策
優先度	41.0% 第26位/全36項目(町内の魅力PR)	優先度	第 位/全 施策	優先度	第 位/全 施策

満足度:「満足である」、「どちらかと言えば満足である」を合計した割合から、「どちらかと言えば不満である」、「不満である」を合計した割合を差し引いたもの
 優先度:「優先すべき」、「やや優先すべき」を合計した割合から、「あまり優先しなくてよい」、「優先しなくてよい」を合計した割合を差し引いたもの

2. 施策の目標

指標	基準値	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
指標1:ちよっ蔵広場の利用者数(人)	22年度実績	計 画	15,000人	16,000人	18,000人	19,000人	20,000人
	17,261人	実 績	↓ 13,682人				
指標2:フィルムコミッション団体の設立支援 フィルムコミッション活動の実施		計 画	活動開始	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
	未実施	実 績	→ 観光協会で活動開始	→			
指標3:		計 画					
		実 績					
指標4:		計 画					
		実 績					
指標に関する特記事項							

進捗状況の区分 ↑:目標以上の成果があった →:目標どおりの成果があった ↓:目標に至らなかった △:遅延・未着手等 ×:見直し・廃止等

3. 施策に係る経費

事業費(傘下事務事業費計)の推移【単位:千円】 (※総事業費)	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
		当 初	18,075	17,870	13,535	
	決 算					

4. 施策傘下事務事業 ※別紙のとおり

5. 施策評価

後期計画における施策展開のビジョン		H25年度の狙い
自己評価(部)	H23 事後評価	・地元購買、地元消費が進むことが、商業の活性化に繋がるが、現実問題衰退している。 ・たんたん祭りは3回開催され、H23の参加者は2~3000人であった。たかねビア夏祭盆踊り大会とは比較することはできないが、実行委員会スタッフが手間暇かけて自ら企画し運営することに意義がある。たんたん祭りは派手でなくても継続することが必要です。
	H25 事前評価	・世代交代による商店街のあり方を議論し、常に問題意識を共有しながら、地域でできるイベント等を自らが中心となって、定期的に開催できるよう誘導していきます。 ・ちよっ蔵広場を生かした商業の活性化を図るため、周辺の商店街を取り込み、高根沢ブランドに特化した商品の販売等も視野に入れて活性化を図っていきます。 ・フィルムコミッション事業を展開し、町観光資源の発掘と、観光協会のPRと集客につなげます。
総合評価(町長)	総合評価	施策傘下事務事業に係る個別指摘事項
	4-1-2における施策展開(新特産品の開発研究)と絡めながら、効果的に施策展開されることを期待する。	・「商工会活動支援事業費」については、「条件付継続事業」とし、関係者との調整状況を、予算編成時に確認する。 ・その他の施策傘下事務事業については、「継続事業」とする。 ・団体運営費補助にあつては、引き続き団体との協議を密にし、適切な役割分担、良好な協力関係を構築されたい。